

不妊をもっと
普通に話せることに

Fineのビジョン

「不妊」が特別ではなく、普通に話せる社会。そして、さまざまな家族のかたち、幸せのかたちを認め合い、応援しあえる社会の実現を目指しています。

Fineのミッション

不妊治療を受けること、自然に授かる日を待つこと、夫婦二人の道を選ぶこと、養子や里子を迎えること。それら不妊に関わるすべてのことを「ごくありふれた普通のこと」にすることで、現在・過去・未来の不妊体験者が孤立せず、前向きに輝き、いきいきと過ごせる環境を作ります。

NPO法人Fine (Fertility Information Network) について
NPO法人Fineは、不妊当事者による不妊当事者のための自助団体（セルフ・サポートグループ）です。2004年に任意団体として設立し、2005年にNPO法人格を取得し、不妊治療患者の支援、不妊（治療）の啓発活動、患者と医療機関や公的機関の橋渡し、患者の意識と知識向上、治療環境の向上を果たすために、さまざまな活動を行なっています。

Fineを応援するには・・・

不妊や不育を取り巻く環境の改善・向上に、Fineを通して様々な形でご参加いただけます。詳しくはFineのWebサイトをご覧ください。



- 正会員
イベントやカウンセリング等で特典あり
- 賛助会員（個人・企業・団体）
イベント等で特典あり
- PASサポーター
（医療機関・企業）
イベント等の特典あり



お問い合わせ



NPO法人Fine

～現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会～

〒135-0016 東京都江東区洲崎橋郵便局留 NPO法人Fine

URL : <https://j-fine.jp/>

E-mail : npofine@j-fine.jp

不妊って、私たちだけの悩みですか？



NPO法人Fine

～現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会～

Q. 妊活中のモヤモヤする気持ち、つらくて苦しいのですが、誰にも話せなくて…。



A.

つらい気持ちを一人で抱え込まないで、仲間とわかち合うことで負担が軽くなることも。

おしゃべり会に参加してみる

Fineでは妊活や不妊、不育症で悩んでいる人同士の交流の場として、おしゃべり会やランチ懇親会を実施しています。気軽におしゃべりしませんか。

不妊ピア・カウンセラーに話してみる

不妊を体験したカウンセラーが、あなたの気持ちに寄り添います。電話相談やグループ・カウンセリングなど、さまざまな形でサポート。臨床心理士によるカウンセリングも実施しています。

不妊ピア・カウンセラー養成講座を受けてみる

不妊特有の心理やカウンセリングのスキルを学ぶ養成講座を開講。「サポートするための学びが自分自身にもプラスになった」という声が数多く寄せられています。



Fine認定ピア・カウンセラー
社会福祉士
カウンセリングルームange
松村 さかえさん

不妊治療をしていた頃、がんばってもどうすることもできないつらさを感じました。そんなとき、Fineのカウンセリングを受けて、心の中の言葉をじっくり聴いてもらうことで救われた気持ちになりました。その経験から、思いを吐き出せてほっとできる場を私も作りたいと思い、ピア・カウンセラーを目指しました。現在、電話相談や対面などで、お話を聴きしています。

※Fineでは、同じ不妊体験者（ピア）としてカウンセリングを行なうカウンセラーを育成する「不妊ピア・カウンセラー養成講座」を開講しています。

Q. 夫婦の5.5組に1人が不妊に悩んでいると聞きます。将来、自分たちもそうならないか心配です。



A.

まずは知るところから始めませんか？理解することが自分らしい選択につながります。

情報収集してみる

Fineウェブサイトでは、不妊に関する情報や体験談などを紹介しています。また、公的機関や各種学会、医療機関などのウェブサイトも参考にしてみましょう。

Fineのイベントに参加してみる

妊活・不妊体験談や不妊特有の心理に関する講演など、Fineではさまざまなイベントを開催しています。リアルな声が、現状を知るきっかけに。

自治体などのセミナーに参加してみる

妊活・不妊に関する講演やセミナーを開催している自治体もあります。また、不妊に悩む人には、各地域に不妊専門相談センターが設置されているので相談してみても。



まつどでつながるプロジェクト事務局
まつど市民活動サポートセンター長

阿部 剛さん

不妊の悩みは、関係が深い相手であるほど、当事者は話づらいと感じるかもしれません。そんなときには、「当事者を支援するFineっていう団体があってね…」と身近な人に教えることができます。個人の心に寄り添う、実情を社会に訴えるなど、さまざまな活動を通じて当事者を支援するFineは、安心して紹介できるので助かっています。

Q. 優秀な人材の「不妊退職」を防ぎたいが、何から手をつければいいのかわかりません。



A.

当事者の声に基づき、仕事との両立支援の制度設計が可能。誰もが働きやすい環境を一緒に作っていきましょう。

制度設計コンサルティング

不妊治療と仕事の両立に関わる制度設計について、当事者視点から必要とされる内容をご提案します。従業員のニーズ・シーズをアンケート調査やヒアリングで把握します。

相談窓口の設置を支援

企業内の相談窓口として、Fine公認ピア・カウンセラーをご活用ください。対面のほか、オンラインによる相談も可能です。

管理者教育・従業員教育など、啓発プログラムの提供

不妊治療は身体的・精神的・経済的・時間的な負担があり、9割以上^(*)の当事者が仕事との両立に悩んでいます。現状を認識し、支援を考えていきましょう。

※上記のほか、ご希望に応じた内容をご提案します。
(*) NPO法人Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part 2」より。



日本生命保険相互会社
市場開発室／法人営業開発室

武田 大介さん

働き方が多様化し、ダイバーシティへの取り組みが進む中、企業では出産や育児と仕事の両立を支援するしくみが整備されました。婚姻年齢や出産年齢が上昇し、不妊に悩む方が増えている現在、企業にも経済的・精神的な不安へのサポートが求められています。不妊治療の内容や仕事との両立の難しさなど、まずは現状を知ることが大事と考え、日本生命はFineとともに企業への啓発に取り組んでいます。